不退転

第149号
東江中学校
校長　神元 勉

卒業生保護者代表謝辞

この度、晴れて卒業を迎えることができました東江中40期生の皆さん、保護者の皆さま、ご卒業おめでとうございます。

また、ご来賓の皆様には、お忙しい中ご臨席賜り、また、温かいお言葉をいただきまして、厚く感謝の意を表します。

校長先生をはじめ、先生方におかれましては、中学校生活の中で『勉強・部活・心と体の教育』に、時には厳しく、時には優しく子ども達と共に笑い、共に泣き、いつもそばで支えて下さり、たくさんのことを教えて頂きました。心よりお礼申し上げます。

40期生の皆さん、今こうして卒業の日を迎え、振り返ってみると、皆さんが入学したての頃は、まだ幼く元気がありすぎて、良く注意を受けていた学年だったように記憶しております。月日が流れるとともに落ち着きを見せ、仲間を大切にできる学年に成長したように思います。

中学校生活では、学習面の他にも、クラスという一つの社会の中で学び取ったことも多かったのではないでしょうか。

運動会や合唱コンクールなどで、友達と共に協力し合った達成感。また、ある時は友達とぶつかり合い、傷つけ合った苦い思い出もあるでしょう。自分の考えを相手にうまく伝えるということは、そう簡単なことではありません。

これからは、今までのように全てが用意されているわけではありません。自分に必要なものは、自分で見つけていかなければなりません。東江中学校で学んだ『困ったら聴く』を常に心がけ、『不退転』の精神を持ち続けてください。

３年間、この東江中学校で立派に過ごされた皆さんなら、自分に必要なものを見つけ出すことができるでしょう。自ら学ぶ積極的な姿勢で、新たな道を歩んでください。この東江中学校で学び、経験したことを糧にし、さらに飛躍してくれるものと信じています。

保護者の皆さま、先生方、並びに地域の皆さま、これからも子供たちを変わらずに、見守っていただければ幸いです。

結びに、東江中学校のさらなるご発展とご臨席いただきました皆様方のご健勝と卒業生の輝かしい未来を祈念いたしまして、卒業生保護者代表の謝辞とさせていただきます。

卒業生保護者代表…末吉　業忠（なりただ）

うちなーことばでワラビの詩 ■36

「制服」　東江　葵（6年）

制服がかっこいい　箱型の教室もおもしろそう
テニス部がある　給食の量が増える　ランドセルからバッグに変わる
だけど不安もある
部活が続かないかもしれない　授業についていけない　とくに数学
生徒指導がきびしそう　それに彼女ができないかも不安
不安がある　だけど中学校がいっぺー、いっぺー、いっぺーましやっさー
（大、大、大好きだ）

今回は普天間第二小学校の児童の作品です。

先生から

沖縄タイムス 2017年3月15日

東江 さんの作品
新しい学校への希望と不安が入り混じる季節とは知っていました。でも、こんなにも子どもたちは中学に期待し、わくわくしているとは。東江くん、学校で働いていたぼくは、とっても嬉しくなりました。ありがとう。
（丹野清彦 琉球大教授）